



まだまだしぶとい“韓流ブーム”

2003年に韓国のドラマ「冬のソナタ」が日本で大ブームになって以降、いわゆる「韓流」と呼ばれる様々な文化が一気に普及しました。例えば、それまで韓国でしか見られなかったドラマが日本でも次々放送開始となったり、CDショップに韓国の歌手が出したアルバムが沢山並ぶようになるなど、その変化は本当に顕著でした。

そうした流れを受けてか、パチンコでも『CRフィーバーユンソナ』『CRぱちんこ冬のソナタ』『CRフィーバー春のワルツ』『ぱちんこCR宮廷女官チャングムの誓い』『CRぱちんこ天国の階段』など、多数の韓流コンテンツタイアップ機が生まれました。中でも『CRぱちんこ冬のソナタ』シリーズではメーカー側が一般の女性ファン向けに、様々な地域でパチンコ初心者講座や先行試打会などを開催したのが奏功し、設置ホールに多数の女性ファンが訪れる効果も生んだことは、業界関係者の多くが印象に残っていることでしょう。

しかし、韓流ドラマやK-POPといったコンテンツが供給過剰気味になるにつれ、ストーリーやメロディーに飽きが出てしまったのか、近年はブームの終焉すら囁かれるようになりました。韓国のショップが並ぶ新大久保でも、撤退する店が後を絶たない…などといったTVニュースもよく見かけます。

そんな中、韓流ドラマとタイアップして今年発売されたパチンコ『CR美男ですね』。正直、最初は「韓流の人気はまだあるのかな？」と心配になったものの、導入に先立って開催された女性試打会には、13時開始のところ朝6時頃から並ぶファンが多数いたり、タイアップイベントを開催したレストランに連日熱心なファンが多数訪れるなど、廃れるどころかヒートアップ気味の韓流ブームを感じざるをえませんでした。

そんな意外性もあり、3月はじめ、タ

イアップイベントを開催している新大久保のレストランに、友人と物見遊山感覚で訪れてみました。レストランではパチンコ(ドラマ)に関連したメニューが食べられるだけでなく、毎日昼と夜先着15人にパチンコのパンフレットやDVD、ポスターなどがプレゼントされるということで、少し早めに行ってみることにしました。

すると面白いことに、ランチで前から16番目以降の方は並ぶのを早々に諦め、夜の方の列に早めに並ぶようにしていたのです。私と友人は整理券16~17番だったのでプレゼントには間に合いませんでしたが、食事はすることにしたので結局私たち以降に入店したお客さんがいない中、ゆっくり楽しむことができました。

さらにレストランへ来たファンの中で、整理券の時間つぶしに近所のパチンコ店へ入っていった3人連れがいたので、何気なく後を追うと…てっきり『CR美男ですね』の台を打つのかと思っていたら、主人公と一緒に撮影できるポスターと写真を撮り、すぐさま外に出て行ってしまいました。う〜む、今やドラマファンがパチンコにも簡単に夢中になってしまう…というわけには、なかなかいかないのかもしれないですね。

とはいえ、新大久保に多く建ち並んだショップの数々はまだまだ多くが盛況で、韓流ブームそのものは「廃れた」と言えないのではないかと感じました。パチンコのコンテンツとしても、初心者へ丁寧に面白さを伝えたり、幅広い層へキャンペーンを行うなどすることで、ファン人口の増加に役立てる機会はあるのではないのでしょうか。



じんぼう・みか

法政大学卒業後、文具メーカー勤務を経て業界誌記者となり、1993年独立。取材記事、コラムなど連載。近著「パチンコ年代記」(バジリコ、07年)